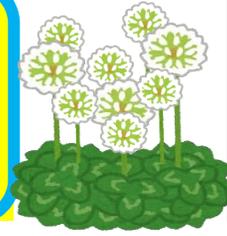


久斗山地区公民館だより



令和6年
4月号

25日発行

久斗山地区公民館

【ご挨拶】 この4月より2年間(令和6年4月1日～令和8年3月31日)の任期で、久斗山地区公民館の館長の職を拝命いたしました。館長になって6年目の春となります。なかなか十分な事もできず、月に1回の頻度で開催してきた久斗山自然教室の行事も少マンネリ化してきているのではと感じる事もありますが、少しでも久斗山の自然や文化を知ってもらえれば、体験してもらえれば、そして行事に参加してくれた人達が、久斗山は素晴らしいところだと感じてもらえれば本望です。多少のイレギュラーなメニューも加えながら、久斗山自然教室を続けて行きたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

【一重のあとで八重のサクラ咲く】 公民館前の遊び場には2本の八重桜の木が植わっています。ソメイヨシノなどの一重の桜は今月の初めには満開となりましたが、それより約1週間遅れて花が咲きはじめました。花の雄しべだった部分が花びらに変化した品種で、実はつけません。厚みのある花は塩漬けして、桜茶などで楽しめます。八重の花見もいいですよ。



一重の桜が散った後に花を咲かせた八重桜(令和6年4月14日)

【春見つけ！緑をいただきます～す】

3月に開催できなかった行事のリベンジとなりましたが、久斗山自然教室「春を見つけよう!みどりを食べよう!」を14日に開催しました。大幅に参加者が増え、28人(子ども10人・大人18人)の参加がありました。朝から暖かな好天に恵まれました。和室で開会の後、座学で食べれる野草や毒草の見分け方などを解説し、その後に野外で採取しました。

シカの食害で、柵で囲った畑や田んぼの周辺にしか植物はありませんが、ヨモギやヨメナ、スギナ、セリ、アサツキなどを見つけて摘みました。持ち帰った野草は水洗いして、さらに差し入れのタラノ芽やコゴミ、コシアブラなども加えて

天ぷらにしました。鹿と猪肉のカツを揚げ、ヨモギとお団子の粉をこねて蒸籠で蒸して草団子に筒と椎茸入りの卵スープも作りました。天気が良すぎて、青空クッキングは暑すぎましたが、出来上がった料理の美味しさが空腹に染み渡りました。参加者みんなが協力してお手伝いして無事に終えました。ありがとうございました。



好きな山菜の天ぷらやジビエカツを載せて天井に



お団子の粉とヨモギをこねて草団子作り

【令和6年度「久斗山自然教室」年間計画】

毎月1回開催される久斗山自然教室の年間プログラムは次の通りです。興味のあるテーマがありましたら、ご参加下さい。

- 4月14日(日) 春を見つけよう!みどりを食べよう! (開催済み)
- 5月19日(日) 春の遠足～安泰寺座禅体験～
- 6月15日(土) 夜のホタルとカエルの観察会
- 7月7日(日) 海の不思議発見!磯の生き物観察会
- 8月18日(日) 川の生き物観察&川の冒険
- 9月14日(土) 夜の鳴く虫観察会
- 10月13日(日) 秋の収穫!芋掘り体験とはんごう炊さん
- 11月17日(日) 野生動物を知ろう!食べよう!ジビエクッキング
- 12月15日(日) つるでつる籠作り&ジビエカレー
- 1月12日(日) 野性的なアクセサリを作ろう!
- 2月16日(日) 野生動物の足跡さがしと雪上ハイク
- 3月20日(木・祝) 早春の里山、早起き生き物を探せ!

開催場所の多くは久斗山地区です。定員はプログラムによって若干異なりますが、概ね20人。参加費は無料または200円程度。ただし、内容によって食材費や材料代を別途徴収することがあります。詳細はその都度、参加募集のチラシに掲載します。



【祝!ご入学おめでとう】

桜が満開となった9日、町内の小・中学校の入学式が挙行されました。校区である浜坂東小学校の来賓として出席させていただきました。本年入学の新1年生は6人です。全校生徒は35人となります。山本和正新校長と共に、おめでとうございます。



【高原に春到来!上山高原山焼き】

岸田川源流に広がる上山高原の春を告げる「山開き・山焼き」のイベントが13日に開催されました。ここ2年ほどは天候に恵まれませんでした。今年はずっと晴天となり、枯草も乾燥して良く燃えました。80人以上の参加があり、燃え上がる炎は迫力満点でした。



【クリーン但馬10万人大作戦】

朝から小雨の降る生憎の天気となりましたが、21日の早朝7時より、「クリーン但馬10万人大作戦」が実施され、村人総出で久斗川の川原や県道周辺のゴミを拾いました。1時間ほどで終わり、午前8時に回収トラックに積込みました。例年より少なく感じました。



○令和6年 5月の行事

- 5日(日) 子どもの日
- 10日(金) 久斗山すこやかクラブ 百歳体操 お話し会 (14:30~15:00 久斗山地区公民館)
- 19日(日) 久斗山自然教室「春の遠足～安泰寺 座禅体験～」 (9:00~14:00 久斗山地区公民館)
- 26日(日) 麒麟獅子マラソン大会 (8:45~ 麒麟獅子マラソン大会実行委員会)
- 26日(日) 「イワツに会えるか 明治の水路散策」 (9:00~15:00 上山高原エコミュージアム)



上山高原エコミュージアム プログラム

扇ノ山残雪・新緑登山

令和6年5月12日(日)

小ツツコ登山口からの道は約3キロのブナ林が続き、そこそこ、コキザサ、チゴユリ、サンカヨウなどの花が楽しめます。この時期は、城宮体験も、ウツミスザクラ、タムシバなど樹木の花も楽しめます。ブナの小径には甘い香りがほんのり漂っています。

日時 2024年5月12日(日) 午前9:00~午後16:00
 出発 上山高原ふるさと館 9:30 ※受付は9時
 コース 上山高原ふるさと館(マイクロバス)→小ツツコ登山口→扇ノ山(登山)
 一畑ヶ平高原→ふるさと館(解散)

弁当、荷具
 参加費 大人 2500円 小中学生 1000円
 定員 先着50名で締め切ります 小雨決行 ※天候によってコース変更あり

ミスジハエトリのメス
 オスは体の色彩が異なり、白黒3本の縦すじがある。

四季の久斗山生物だより
 ミスジハエトリ (クモ類)

家の窓辺や壁などで見つかることが多い、屋内性のクモです。ジャンプして蠅などを捕まえる。蠅取り蜘蛛の仲間、それこそ害虫を駆除してくれる、いいやつです。顔の前に並ぶ二つの眼は、遠近感を測ることができません。雌雄の体色は異なり、オスは白黒3本の筋があり、それが名前の由来です。

主催：特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム・新温泉町
 申し込み問合せ：特定非営利活動法人上山高原エコミュージアム
 TEL:0796-99-4600 FAX:0796-99-4601 E-mail:ueyama-eco@yumenet.tv

かってに昔話 第七話 木の根の穴

与一は腹を決め、地底での生活に順応することに努めました。やがて、長いことお日様に当たらないので、体の色は白くなり、頭髪も真っ白になっていました。地底では茸や光蕨、蚯蚓も光を発するものがあります。夜目が利くようになり、そんなわずかな光でも、良く見えるようになりました。視力よりも音や匂い、そして地面や物から伝わる振動を感じる能力が研ぎ澄まされてきました。

与一は、最初に地底に落ちてきた時に青頭百足から助けられて、それから後何かと身の回りの世話を焼いてくれていた娘が愛しくなり、やがて結ばれた夫婦になりました。そして、二人の間に男の子が生まれたのです。その子は生まれた時から透き通るように真っ白で、瞳だけが真っ赤でした。いわゆるアルビノと呼ばれる色素を持たない子どもだったのです。しかし、すこぶる元気で、一杯泣いては、母親のお乳をねだるのでした。なんと、地底人には乳房が二対、四つつも有るので、子どもは乳をたっぷりと与えられ、健やかに育ちました。すぐさま、健やかに育ちました。瞬間に這い這いしたかと思う間に、つかまり立ちできるようになり、瞬が早いようでした。地上の子どもより成長が早いようでした。

与一は愛する妻と元氣な子に恵まれ、毎日が幸せでした。しかし、何かのきっかけで地上のこと、何を思い出すことがありました。特に昼と夜が交互におとづれ、光輝と満ち欠ける月は地底では見ることができません。与一は、上方を見上げては、地上のことを懐かしく想い出していました(つづく)